

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 株式会社 牧野フライス製作所
 コード番号 6135 URL <http://www.makino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 牧野 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 細島 英一
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 046-284-1844

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	21,089	△64.4	△7,726	—	△7,992	—	△7,564	—
21年3月期第2四半期	59,304	—	2,917	—	2,929	—	1,693	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△65.99	—
21年3月期第2四半期	14.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	147,713	81,354	54.2	698.45
21年3月期	159,145	88,704	55.0	762.90

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 80,064百万円 21年3月期 87,455百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	0.00	7.50
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△53.2	△14,000	—	△14,500	—	△14,500	—	△126.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 119,944,543株 21年3月期 119,944,543株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 5,312,495株 21年3月期 5,309,334株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 114,633,324株 21年3月期第2四半期 116,892,675株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

世界経済は、回復傾向にあるアジアをはじめとして、下げ止まっているとの見方が有力であります。国内では、自動車・家電関連産業などで、在庫調整が進んでいるものの、依然として生産設備の過剰感は解消されていないと報じられております。このこともあって(社)日本工作機械工業会の2009年4-9月受注累計額は、対前年同期比73.3%減の1,969億円となりました。

当社単体の受注は、対前年同期比76.1%減の91億95百万円と低迷を続けています。これは最大の市場である自動車産業の不調が大きく反映しております。その裾野産業である部品メーカーや金型メーカーへの発注が激減し、設備稼働率が落ち込んだ結果、増産目的の設備投資が中止または延期されたことに起因しています。

自動車産業は、低燃費の小型車やエコカーを中心に徐々に回復していますが、本格的な量産体制には至っておりません。この不況の経験から、生産現場では変種変量生産に対応するため、初期投資の軽減と加工対象物の変更に対応できる機械設備を求めています。このため汎用マシニングセンタをコアマシンとした柔軟な生産方式の需要がこれから高まると考えております。

当社グループのマキノジェイが研究開発を進める、汎用機でありながら専用機と同等の加工能力を有している「横形マシニングセンタJシリーズ」が注目されています。シリンダブロックの加工では、従来は専用機が必要とされたホーニングやラインボーリングの工程をスマートツール(専用工具)の開発により可能にしました。またクランクシャフト部品も付属ユニットの装着だけで加工可能です。ターンキーエンジニアリングと伴に今後本格化するであろう自動車のフレキシブルな量産加工ラインの需要を見込んでおります。

航空機市場では、当社としては最大機となる「5軸制御マシニングセンタMAG/A7」を欧州に向け出荷しました。顧客の現有設備に対して、アルミ合金部品の生産性を大幅に改善することが期待されています。一方、燃費効率の改善を目的として機体構造部品には、軽くて強いチタン合金の使用量が増加しています。難削材であるチタン合金の効率的加工に向けて、大型チタン合金加工用の「5軸制御マシニングセンタMAG/T4」に加え、新たに中型の「MAG/T2」を発売しました。

航空機メーカーが開発している新型機の量産に向けた設備投資、そして新興国の需要拡大を見込んでおります。この工作機械需要は、まず海外から動き出し、国内はそれからと考えています。

当社がもっとも得意とする金型市場は、特に国内においては停滞から脱却するに至っておりません。一方、金型の高精度化や短納期化の動きから、工程削減や自動化の要求が工作機械に高まっています。このような需要に対応したベストセラー機種である「立形マシニングセンタVシリーズ」を中心に先駆的な製品を幅広く展開してまいります。

Vシリーズの他には、微細化が進むLED照明・携帯電話・医療機器向けに「微細 精密加工機 iQ300」を開発しました。精密金属プレス分野向けには、「超硬加工用ワイヤ放電加工機UPV-3・UPV-5」を発表し、携帯電話など小型精密コネクタのプレス金型やハイブリッド自動車用モータコアのプレス金型に対応します。

以上の結果、当第2四半期累計期間における連結売上高は210億89百万円(対前年同期比64.4%減)、連結営業損失77億26百万円(前年同四半期は29億17百万円の連結営業利益)、連結経常損失79億92百万円(前年同四半期は29億29百万円の連結経常利益)、連結四半期純損失75億64百万円(前年同四半期は16億

93百万円の連結四半期純利益)となりました。

地域別の状況は以下のとおりです。

アジア市場においては、中国やインドで内需向け自動車・建機・農機関連産業の設備で高い需要がありました。特に、中国では急速な生産能力拡大の動きがあり、ターンキーエンジニアリングを伴った量産ラインの引合いが増えています。競合状況が大変厳しくなっていますが、受注は3期連続で増加していません。

ヨーロッパ市場の受注は低迷していますが、夏以降引合いが増えてきており、回復の兆しが見えてきました。

アメリカ市場は、前年度第4四半期まで他地域より堅調に推移しましたが、年初のころから月を追うごとに悪化してまいりました。しかし9月は引合いや受注が増加しております。

回復の遅れる日本市場にあって、当社の重要な顧客である金型製造業は、耐久消費財の組立部門が海外移転を進めるに伴い、厳しい国際競争にさらされております。世界規模では金型の需要が拡大に向うなか、国内金型メーカーによる連携、異業種への参入、海外進出など新しい展開が始まっています。当社は、この期待に応えるべく、新製品の開発と顧客サポートに努めてまいります。

各地域別の業績については、5.【四半期連結財務諸表】(5)セグメント情報の項目をご参照下さい。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債および純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ114億31百万円減少し、1,477億13百万円となりました。この主な要因は、売上債権の減少および棚卸資産の減少などです。

負債は、前連結会計年度末に比べ40億80百万円減少し、663億59百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少によるものです。

純資産は、利益剰余金の減少75億74百万円などにより、前連結会計年度末に比べ73億50百万円減少し、813億54百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少101億62百万円、棚卸資産の減少30億14百万円に対して、税金等調整前四半期純損失79億64百万円および仕入債務の減少66億37百万円などの結果、33億9百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、11億47百万円の支出となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得などです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、19億85百万円の収入となりました。これは主に短期借入金の増加によるものです。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ42億9百万円増加し、441億88百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月8日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。具体的な内容については、本日（平成21年10月30日）公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準など一部簡便的な方法を採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,163	39,235
受取手形及び売掛金	14,040	24,529
有価証券	2,066	2,160
商品及び製品	9,358	11,100
仕掛品	8,713	9,136
原材料及び貯蔵品	12,757	14,128
繰延税金資産	628	828
その他	1,955	3,414
貸倒引当金	△1,182	△1,079
流動資産合計	92,501	103,454
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,708	22,462
機械装置及び運搬具(純額)	3,331	3,572
工具、器具及び備品(純額)	2,043	2,558
土地	9,610	9,628
リース資産(純額)	1,664	1,563
建設仮勘定	396	228
有形固定資産合計	38,755	40,014
無形固定資産		
のれん	58	78
その他	899	859
無形固定資産合計	958	937
投資その他の資産		
投資有価証券	8,650	7,261
長期貸付金	452	493
繰延税金資産	1,479	1,231
その他	5,197	6,018
貸倒引当金	△281	△266
投資その他の資産合計	15,497	14,738
固定資産合計	55,211	55,691
資産合計	147,713	159,145

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,257	11,063
短期借入金	6,841	4,752
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	4,554	611
リース債務	310	247
未払法人税等	633	603
その他	7,176	6,865
流動負債合計	33,774	24,143
固定負債		
社債	10,000	20,000
長期借入金	15,066	19,314
リース債務	1,956	1,905
繰延税金負債	3,254	2,699
退職給付引当金	543	642
役員退職慰労引当金	271	1,309
その他	1,492	424
固定負債合計	32,585	46,297
負債合計	66,359	70,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,263	19,263
資本剰余金	32,595	32,595
利益剰余金	34,881	42,455
自己株式	△2,765	△2,764
株主資本合計	83,974	91,550
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,531	1,692
為替換算調整勘定	△6,440	△5,786
評価・換算差額等合計	△3,909	△4,094
少数株主持分	1,289	1,249
純資産合計	81,354	88,704
負債純資産合計	147,713	159,145

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	59,304	21,089
売上原価	41,386	19,861
売上総利益	17,917	1,228
販売費及び一般管理費	14,999	8,954
営業利益又は営業損失(△)	2,917	△7,726
営業外収益		
受取利息及び配当金	186	115
為替差益	279	—
助成金収入	—	207
その他	294	326
営業外収益合計	760	649
営業外費用		
支払利息	241	435
為替差損	—	414
その他	506	65
営業外費用合計	748	915
経常利益又は経常損失(△)	2,929	△7,992
特別利益		
固定資産売却益	12	28
貸倒引当金戻入額	17	—
特別利益合計	30	28
特別損失		
固定資産除却損	43	—
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	46	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,912	△7,964
法人税等	1,089	△348
少数株主利益又は少数株主損失(△)	130	△50
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,693	△7,564

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,912	△7,964
減価償却費	1,795	1,655
のれん償却額	19	19
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△51	128
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△238	△1,038
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△59	32
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△70	—
受取利息及び受取配当金	△186	△115
支払利息	241	435
為替差損益(△は益)	△39	△31
有形固定資産売却損益(△は益)	△12	△28
有形固定資産除却損	43	—
売上債権の増減額(△は増加)	7,998	10,162
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,699	3,014
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,882	△6,637
その他	△79	3,362
小計	1,693	2,995
利息及び配当金の受取額	183	106
利息の支払額	△214	△424
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,729	631
営業活動によるキャッシュ・フロー	△67	3,309
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△400	△721
有価証券の取得による支出	△150	△50
有価証券の売却による収入	—	150
有形固定資産の取得による支出	△5,220	△894
有形固定資産の売却による収入	73	432
その他	△67	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,763	△1,147
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,780	2,415
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△121
長期借入金の返済による支出	△1,650	△305
社債の発行による収入	10,000	—
自己株式の取得による支出	△27	△1
配当金の支払額	△876	—
少数株主への配当金の支払額	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,221	1,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	61
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,408	4,209
現金及び現金同等物の期首残高	25,621	39,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,029	44,188

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社の事業は、工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

2. 所在地別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	24,898	12,503	13,827	8,074	59,304	—	59,304
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,926	2,829	275	30	42,062	(42,062)	—
計	63,825	15,333	14,103	8,104	101,366	(42,062)	59,304
営業費用	61,721	15,166	13,481	7,610	97,979	(41,593)	56,386
営業利益	2,103	166	622	493	3,386	(468)	2,917

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア・・・シンガポール
 アメリカ・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・ドイツ

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	アメリカ (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
1. 外部顧客に対する 売上高	7,919	5,914	5,748	1,507	21,089	—	21,089
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,482	328	101	8	5,922	(5,922)	—
計	13,402	6,243	5,850	1,516	27,012	(5,922)	21,089
営業費用	19,615	6,773	6,434	2,317	35,141	(6,325)	28,815
営業損失(△)	△6,213	△530	△584	△801	△8,128	402	△7,726

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

- 2 各区分に属する主な国又は地域
 アジア・・・シンガポール
 アメリカ・・・アメリカ
 ヨーロッパ・・・ドイツ

3. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	13,874	8,936	16,749	1,709	41,268
II 連結売上高(百万円)					59,304
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.4	15.1	28.2	2.9	69.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アメリカ・・・アメリカ・カナダ

ヨーロッパ・・・イタリア・ドイツ・イギリス

アジア・・・中国・インド・韓国・タイ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	5,908	1,593	7,271	357	15,131
II 連結売上高(百万円)					21,089
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	28.0	7.6	34.5	1.7	71.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アメリカ・・・アメリカ・カナダ

ヨーロッパ・・・ドイツ・イタリア

アジア・・・中国・インド・韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」受注及び販売の状況

当社グループは工作機械の製造・販売業の単一セグメントでありますので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。以下は機種別の状況を記載しております。

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

区分	前第2四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月 30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月 30日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	44,518	69.5	9,528	47.2
放電加工機	5,689	8.9	1,867	9.2
フライス盤	537	0.8	180	0.9
その他	13,345	20.8	8,632	42.7
合計	64,090	100.0	20,208	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

受注残高

(百万円未満切捨て)

区分	前第2四半期連結会計期間末 平成20年 9月 30日		当第2四半期連結会計期間末 平成21年 9月 30日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	42,213	87.1	20,363	78.1
放電加工機	3,670	7.6	2,275	8.7
フライス盤	250	0.5	93	0.4
その他	2,309	4.8	3,324	12.8
合計	48,443	100.0	26,057	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

区分	前第2四半期連結累計期間 自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月 30日		当第2四半期連結累計期間 自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月 30日	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)
マシニングセンタ	40,892	69.0	12,282	58.3
放電加工機	4,941	8.3	1,335	6.3
フライス盤	455	0.8	197	0.9
その他	13,014	21.9	7,274	34.5
合計	59,304	100.0	21,089	100.0

(注) 上記の金額には消費税は含まれておりません。